

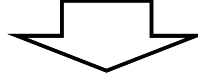
平成23年行政事業レビューシート (農林水産省)

事業名	新型コロナウイルス発生時等の食料供給能力向上対策事業		担当部局庁	大臣官房		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～		担当課室	食料安全保障課		食料安全保障課長 水田正和		
会計区分	一般会計		施策名	④ 総合的な食料安全保障の確保				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	食料・農業・農村基本計画				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	新型コロナウイルス発生時などの異常事態においても、食料の安定供給が確保され、国民の食生活に不安が生じないよう不測時における食品産業事業者の事業継続能力の向上を図る。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	1. 食品産業事業者がその業務を継続するための事業継続計画の策定を推進するため、研修会を開催する。 2. 食料品の供給に係るサプライチェーンを通じた各事業者間の事業継続計画の繋がりを検証し、問題点を明らかにするとともに、改善策、留意点等を取りまとめる。 3. 事業を継続するために必要となる原材料の在庫確保のための方策を検討するため、海外における実態調査や国内企業の実態調査を実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予 算 の 状 況	当初予算			30	27	22	
		補正予算			0	0		
		繰越し等			0	0		
		計			30	27		
	執行額			30				
執行率(%)			100					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	22年度 事業継続計画を有する食品産業事業者等によって担われる食料供給の割合の増大。(市場流通量の7割以上)	成果実績			-	-	7割	-
		達成度	%		-	-	100	
	23年度 事業継続計画策定済の食品産業事業者の割合を7割まで増加	成果実績			-	-	-	7割
		達成度	%		-	-	-	
	活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度
研修会の開催回数		活動実績 (当初見込み)	回	-	-	24 (24)	- (47)	
単位当たり コスト	① 90万円/1研修会 ② 58万円/1ヒアリング及び検証 ③ 63万円/1調査		算出根拠	① H22年度執行額:21.5百万円/研修会開催回数(24回) ② H22年度執行額:3.5百万円/サプライチェーン企業へのヒアリング・検証回数(6回) ③ H22年度執行額:5百万円/原材料在庫確保のための手法に係る外国調査(2箇所)及び国内調査(6箇所)				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	研修会の実施に関する経費	27	4	研修会の開催回数の削減によるもの				
	指針策定に必要な経費	0	18	食品産業事業者間の協定を結ぶために必要となる指針を新たに策定することによるもの				
	計	27	22					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>① 委託業者との打合せを毎月実施し、事業の進捗状況や執行状況等を把握。</p> <p>② 企業ヒアリングの実施に関しても、ヒアリング内容等について効果的な回答が得られるよう事前調整等を実施。</p> <p>また、研修会の開催に当たっては、参加者を幅広く募集するため、食品産業関係団体のほか、商工会議所や地方自治体等の食品産業と直接関わりのない団体等へも当該研修会の活用を呼びかけ、より多くの事業者が事業継続計画を策定するように努めた。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>本事業は、研修会やサプライチェーン検証等に使用する人件費については、コストの更なる削減が可能と考えられることから、「コストの削減」を行うべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>24概算要求において、事業内容の見直しを通じた人件費の削減等によりコスト削減を実施</p>			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

農林水産省

30百万円

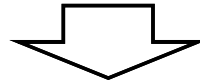


【企画競争】

A. NKSJリスクマネジメント(株)

30百万円

1. 食品産業事業者がその業務を継続するための事業継続計画の策定を推進するための研修会を開催。
2. 各事業者間の事業継続計画を検証し、問題点を明らかにするとともに、改善策、留意点等を取りまとめる。
3. 事業継続を行うために必要となる原材料の在庫確保のための方策を検討する。



B. 民間企業 (2社)

3百万円

1. 会場手配
2. 印刷費
3. ホームページ作成

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A. NKSJリスクマネジメント(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	研修会、サプライチェーン検証、原材料在庫確保等	16			
外部委託費	会場手配、印刷費等	3			
役務費	研修会運営費、旅費交通費等	8			
その他	間接経費、消費税等	3			
計		30	計		0
B. (株) プロアクティブ			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務費	会場手配、印刷費、ホームページ作成等	2			
計		2	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NKSJリスクマネジメント(株)	研修会開催運営、サプライチェーン検証、原材料在庫確保手法検討等	30	4(企画)	100
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)プロアクティブ	会場手配、ホームページ作成	2	随意契約	-
2	(株)サンワ	印刷	1	随意契約	-
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					